

※ 今週のアウトルック(8/3～8/7)

先週の木曜日と金曜日に、数回にわたって日銀の介入があったようです。

米財務省との協調と言う見方が強いようで、円は大きく上昇しました。

今週は、日米による確固たる姿勢が示されたことで、市場心理はどう変わるのか。
まずはこのあたりを見極める必要がありそうです。

先週ドル円は164円付近まで円安が進みましたが、木曜日、金曜日と介入的な動きが
断続的に観測されました。157円台後半で週末を迎えています。

日米による協調介入という見方が強いようです。

今週は、日米ともに165円以上の円安は望まない、と言う姿勢が示されたことで、
市場心理がどのように変わるのか、しばらくは状況を見ながら円売りというスタンスには
なりそうですが、デッドライン見極めようとする動きが強まりそうです。

ドル円の予想レンジは、155円～162円です。

ユーロドルは先週後半から上昇しています。

テクニカル的には1.16付近まで戻る可能性はありそうです。

ユーロ円は先週後半、日米協調介入の影響で大きく下落しました。
このまま180円を割り込んでしまうことがあると、下落トレンド入りとなる可能性が
浮上してきそうです。

ユーロ円の予想レンジは、180円～185円です。

ポンド円も先週後半、大きく下落して212円台前半で週末を迎えています。
今週は様子見的な動きが増えるように思います。

ポンド円の予想レンジは、212円～218円です。

日経225は7/29に一度6万円付近まで下落したものの、後半に少し戻して
6万3千円付近で週末を迎えています。

テクニカル的には下落トレンド入りした可能性が強まっています。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。